



あかしや

山形市立第九小学校

令和8年1月26日 No.9

発行：校長 沼澤 聡

～豊かなくらしを、ともに創り出す子どもの育成～

飛躍の3学期に



3学期が始まり3週間余りが経過しました。今年度の授業日数は残すところ35日、もうゴールが見えるところまで来ています。短い期間になりますが、これまで学んできたことを深めたり、『感謝・希望・決意…』等の思いを育てたりして、次の学年につなげる大事な時期です。1日1日を大切に、教職員一同力を合わせて、子ども達にしっかり力をつけて今の学年を終えられるようにしたいと思います。始業式では、子ども達に以下の話をしました。(一部抜粋しています。)

6年生へ…大きな節目の年になります。中学校に向けての準備もありますが、どのように小学校を終えるかが、これからの自分のためには大切です。大切なことは日常にあります。これまでがんばってきた、あいさつ、清掃、フレンド班活動、児童会活動、普段の学校生活など、もう一度見直して、最後まで丁寧に取り組んでください。下学年があこがれる、お手本になる姿をぜひ残してほしいと思います。**5年生へ**…6年生へ向けての『助走』の期間です。まずは、6年生の姿をよく見て、ここがいい、真似をしたいということたくさん見つけてください。それから、来年6年生になったら、こんな学校にしたい、こんなことをしてみたいということを考えてみてください。それが、6年生になったときのエネルギーになります。**1～4年生へ**…まずは自分のことをしっかりやるのが大事です。自分がんばることを具体的に決めて、3月には、自信を持って今の学年を終えられるようにしてほしいと思います。

3学期の終わりに、今年も楽しく充実した学校生活を送ることができたと、胸を張って言えるようにがんばりましょう。

～こんな3学期に～ 始業式 児童代表の言葉

【2年 中川 結葉】

わたしは、2学期に特にがんばったことが2つあります。1つ目はあいさつです。明るく、元気に、交通指導員さんや友達、昇降口のお兄さん・お姉さん、先生など、たくさんの人にあいさつすることができました。2つ目にがんばったことは九九です。1日に1つは合格できるように、自分で時間を計って練習したり、お父さんに聞いてもらったりして、工夫してがんばりました。／そして、いよいよ3学期が始まりました。3学期は、3年生の準備の大切な学期です。そこで、わたしが3学期にがんばりたいことを3つ考えました。／1つ目は、誰かが困っている時に、「どうしたの」と、やさしく声をかけてあげることです。わからないことがあって困っている友だちを見つけたら、自分から声をかけてあげたいです。／2つ目は、聞き方の達人になることです。2学期に、『ほしぞら学年』では、よい聞き方についてみんなで考え、取り組んできました。わたしは、話している人の顔を見て聞くことや、どうしてそう考えた



のか想像しながら聞くことができました。3学期は、聞きながらわからないことを発見したり、聞いた後に自分の考えを発表したりできるようになりたいです。／3つ目は、1年生のお手本になることです。3学期は、1・2年生の雪上教室が待っています。1年生に優しく教えてあげたり、見本を見せてあげたりして、1年生となかよく活動して思い出に残る雪上教室にしたいです。／2学期にがんばったことを続けながら、3学期にもたくさんのことにチャレンジしていきたいです。

【5年 齊藤 優我】

2025年の1年間でがんばったことをふり返りました。／1つ目は委員会活動です。委員会活動ではきめられた仕事をするだけではなく、周りの人が困っていないかななどを心がけました。そうすると、委員会の活動がスムーズに進んだので、6年生を支えることにもつながったと思いました。／2つ目は学習発表会です。学習発表会では実行委員として活動しました。話し合いを進めたり、意見をまとめたりすることは簡単ではありませんでしたが、周りのことを意識しながら行動することを意識しました。準備の時は上手くいかなかったこともあったけど、最後まで取り組むことで達成感を味わうことができました。委員会活動や学習発表会を通して、周りのことを考えて行動することの大切さがわかりました。／しかし、5年生の1学期、2学期をふり返ると、あまりできなかったこともあります。それは、自信をもって人前で自分の考えを発表することです。緊張してしまい、上手く言葉にできないことがたくさんありました。今年の4月から6年生になるので、3学期はその課題に向けて考えを整理しながら話すことを意識して、発表することができるように前向きに取り組んでいきたいです。／また、6年生になる4月からは最高学年として、他の学年のお手本になれるようにしたいです。そのためには、あいさつをしっかりとすることや自分の役割を最後までやりきるなどの当たり前のことを当たり前に行動することや、周りを見ながら行動して、他の学年のお手本になれるようになることを、これからも続けていきたいです。／最後に、『きらめき学年』のみなさん、素敵な6年生になるために、それぞれの目標に向かって協力しながら、これからもがんばっていきましょう。



1・2年生雪上教室&3・4年生スキー教室

九小では、1・2年生が山形市少年自然の家で、3年生が猿倉スキー場で2回、4年生が蔵王スキー場で1回、冬の自然に親しむ行事を行っています。今年度は、1・2年生の雪上教室を終え、3年生のスキー教室②と4年生スキー教室を残すところとなっています。

冬の遊びやスポーツの多様化、ライフスタイルの変化、学校行事の精選等の影響を受け、スキーやそりなどの身近な冬の遊びに取り組む人は、だいぶ減ってきています。でも、子ども達の様子を見ると、ほとんどの子どもは雪に親しむことが大好きです。思いっきり、冬の自然を楽しんでいました。

みんな山形の子も達です。山形の冬ならではの活動は、これからも大事にしていければと思います。

